

3.組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別:混合物

化学名又は一般名 :スチレン/アクリル酸エステル共重合体水性エマルジョン

化学特性(化学式等) :非公開

濃度又は濃度範囲(含有量)

:スチレン/アクリル酸エステル共重合体 約50%

アンモニア < 0.3% 危険有害成分

(安衛法通知対象物)

水 残り

官報公示整理番号 :スチレン/アクリル酸エステル共重合体 非公開

アンモニア 1-391

4.応急措置

- 吸入した場合 :蒸気・ガスなどを吸引し気分が悪くなったときは、直ちに空気の新鮮な場所へ移動させて、安静・保温に努め、速やかに医療処置を受ける。
- 皮膚に付着した場合 :付着した衣服・靴を脱ぎ、付着した部分を水または石鹼水で十分洗い落とし、痛みまたは外観に変化のあるときは、速やかに医療処置を受ける。
- 目に入った場合 :清浄な水で最低15分間、目を洗浄したのち、速やかに眼科医の手当てを受ける。
- 飲み込んだ場合 :水でよく口の中を洗浄し、直ちに医療処置を受ける。

5.火災時の措置

- 消火剤 水、泡、粉末、二酸化炭素
- 使ってはならない消火剤:
- 特有の消火方法 :燃焼の際は火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。延焼の恐れのないように水スプレーで周辺を冷却する。
- 消火を行う者の保護 :消火作業は、風上から行い、状況によっては呼吸器具を着用する。

6.漏出時の措置

- 人体に対する注意事項・保護具 :作業の際は適切な保護具を着用し、ガスを吸入しないようにする。
- 環境に対する注意事項:製品や洗浄水が地面、川や排水溝に直接流れないように対処する。
封じ込め及び浄化の方法・機材
:流路を毛布・土嚢等を用いて堰き止め、大量流出の場合はバキューム等で汲み上げ、又少量流出の場合はおが屑・土砂・パーライト等を混ぜて回収する。
- 二次災害の防止策 :河川・湖沼への流出の場合は、警察署・消防署・河川管理局・水道局・保険所・農協・漁協等に直ちに連絡を取る。

7.取扱い及び保管上の注意

- 取扱い
- 技術的対策 :目・皮膚への接触を防ぐため、保護眼鏡・保護手袋などの保護具を着用する。
スプレーミストの発生する作業の場合はフィルター付の保護マスクを着用する。
局所排気・全体換気:取り扱いは局所排気設備のある場所で行う。
- 注意事項 :取り扱い後は手洗い及びうがいを十分に行う。
- 安全取扱い注意事項:取り扱いの都度容器を密封する。
- 保管
- 技術的対策:
- 適切な保管条件 :よく蓋をし、直射日光を避け、風通しの良い場所で5~30℃で保管する。
- 安全な容器包装材料 :発錆しない材料を使用し、鉄製の容器を使用しない。

8.暴露防止及び保護措置

- 設備対策 :局所排気装置を使用する。
- 管理濃度 :製品については未設定
- 許容濃度

日本産業衛生学会 :製品については未設定
但し、製品中に含まれるアンモニアは下記の通り。
25ppm (17mg/m³)
ACGIH :製品については未設定
但し、製品中に含まれるアンモニアは下記の通り。
TLV TWA 25ppm
TLV STEL 35ppm

保護具

呼吸器の保護具 :フィルター付の保護マスクを着用する。
手の保護具 :ゴム手袋
目の保護具 :安全眼鏡、安全ゴーグル
皮膚及び身体の保護具:作業着、安全靴

9.物理的及び化学的性質

外観(物理状態、形状、色):
液体 乳白色
臭い(臭いの閾値) :僅かなアクリル臭
pH :7.5 ~ 9.5
融点/凝固点 :未測定
沸点、初留点と沸騰範囲:水 100°C アンモニア -33.35°C(760mmHg)
引火点 :未測定。但し、製品中に含有するアンモニアは下記の通り。
アンモニア 132°C
自然発火温度(発火点) :未測定
燃焼性(固定、ガス) :未測定
燃焼または爆発範囲の上限/下限 :未測定
蒸気圧 :未測定
蒸気密度 :未測定
蒸発速度 :未測定
比重(相対密度) :1.0 ~ 1.2 g/cm³
溶解性 :水に任意の割合に希釈可能
n-オクタノール/水分配係数 :未測定
分解温度 :未測定

10.安定性及び反応性

安定性 :常温・常圧で安定
危険有害反応可能性 :特記すべき反応性なし。
避けるべき条件 :特記すべき条件なし。
混触危険物質 :水と反応する物質との混合、接触を避ける。
危険有害な分解生成物:燃焼によりCO、NOX等の有害ガスを発生する恐れがある。

11.有害性情報

急性毒性 :データなし
但し、製品中に含有するアンモニアは下記の通り。
吸入(ガス) ラットLC50 = 4608.7ppm (4時間換算値)
皮膚腐食性/刺激性 :データなし
但し、製品中に含有するアンモニアは下記の通り。
重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷(区分1A-1C)
眼に対する重篤な損傷/刺激性 :データなし
但し、製品中に含有するアンモニアは下記の通り。
重篤な眼の損傷(区分1)
呼吸器感作性/皮膚感作性:データなし
但し、製品中に含有するアンモニアは下記の通り。
吸入するとアレルギー、喘息又は呼吸困難を起こすおそれ(区分1)
変異原性(生殖細胞変異原性)
:データなし

但し、製品中に含有するアンモニアは下記の通り。
 遺伝性疾患のおそれの疑い(区分2)
 発がん性 :データなし
 生殖毒性 :データなし
 特定標的臓器/全身毒性-単回暴露 :データなし
 但し、製品中に含有するアンモニアは下記の通り。
 呼吸器系の障害(区分1)
 特定標的臓器/全身毒性-反復暴露 :データなし
 但し、製品中に含有するアンモニアは下記の通り。
 長期又は反復ばく露による肺の障害のおそれ(区分2)
 吸引力呼吸器有害性:データなし

12.環境影響情報

生態毒性
 魚毒性 :河川等に流出した場合は、エマルジョン中の樹脂の粘着性による呼吸困難のため、魚類が死亡する場合がある。
 製品中に含有するアンモニアは下記の通り。
 カラフトマスの98時間LC50 = 0.083mg NH3/L
 残留性/分解性:データなし
 生体蓄積性 :データなし
 土壤中の移動性 :物理的性質からみて、大気、水域、土壤環境に移動し得る。
 他の有害影響 :データなし

13.廃棄上の注意

残余廃棄物 :廃製品・廃容器の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理する。
 洗浄水等の処理は、地面や排水溝へそのまま流さず、凝集沈殿法、活性汚泥法等による。
 汚染容器及び包装 :空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去したあとに処分する。

14.輸送上の注意

国際規制 特段の規制はない。
 国連分類 :分類基準に該当しない。
 国内規制 :特段の規制はない。
 輸送の特定の安全対策及び条件
 :直射日光を避け、30℃以下で輸送する。輸送前に容器の破損、腐食、漏れなどないことを確かめる。
 転倒、落下、損傷のない様に積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。

15.適用法令

適用法令 :労働安全衛生法 通知対象物質 第57条の2 通知対象物 アンモニア (政令番号39)

16.その他の情報

その他 :ホルムアルデヒド放散量区分:室内空気質
 汚染対策のための自主管理規定 F☆☆☆☆

「注意」

・この情報は新しい知見及び試験等により改正されることがあります。
 ・記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確さ、安全性を保証するものではありません。
 ・注意事項は通常取り扱いを対象としたものですが、特別な取り扱いをする場合には、新たに用途用法に適した安全対策を講じた上で実施願います。
 ・すべての化学製品には未知の有害性があり得るため、取り扱いには細心の注意が必要です。ご使用各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願い申し上げます。